

## 4回目 情報をとることの重要性を知ろう

### 「情報」は未来をつくる——指導者としての視野を広げるために

日々、グラウンドや体育館で選手たちと向き合っているスポーツ指導者の皆さん。

まずは、いつも現場でのご尽力に心から敬意を表します。

今回は、「情報を広く集めることの価値」について、少し視点を変えてお話ししたいと思います。

#### ChatGPTが「未来を語り始めた」理由

ChatGPTというAIをご存じの方も多いと思います。

このAIは、ひとつの言葉から、その言葉にもっとも関係性の高い言葉をつなぎ、文脈をつくっていきます。

初期のころは、まだ持っている情報が少なかったため、うまく文章を作れませんでした。

しかし、今では世界中の膨大な情報を学習したこと、1兆分の1の精度で言葉を選び、正確な文章を生成できるようになったと言われています。

あるAI研究者は、このAIがoutputする文章を分析し、「未来を語り始めた」\*\*と語りました。

そして、AIを「人工知能」ではなく、「未来予測装置」と呼ぶようになったのです。

#### この話から、私たちが学べることは何でしょうか？

それは、たくさんの情報に触れることで、人は未来を考えられるようになるということです。

これは、スポーツ指導の現場でもまったく同じです。

#### 自分の競技ジャンルだけでは、見えない未来がある

多くの指導者の方が、自分の競技に深く精通しておられます。テクニカルな指導、トレーニング理論、試合での戦術...。どれも非常に大切です。

しかし、「自分の競技以外の情報」や、「スポーツ以外のジャンルの考え方」にも目を向けると、指導の引き出しが一気に増えることがあります。

例)

- ラグビーの指導者が、サッカーやバスケットボールのチームビルディングの手法から学ぶ
- 野球のコーチが、企業のリーダーシップ論を取り入れて、キャプテン指導に応用する
- 柔道の先生が、心理的安全性の考え方を学び、選手との対話を変える

このように、ジャンルを越えて情報を吸収する事が、未来の選手育成やチーム運営のヒントになるのです。

#### 「やりたいことがわからない学生」の原因も、情報不足

また最近では、大学生が「自分が何をやりたいのかわからない」と悩む姿もよく見られます。

これも突き詰めれば、「まだ知らないだけ」というケースが多くあります。

視野を広げるには、まず情報に出会うことが必要なんですね。

#### 指導者も、選手も、未来のために情報を集めよう

これから時代、指導者には「技術の指導」だけではなく、「戦略」「育成方針」「コミュニケーション」「チーム運営」など、さまざまな力が求められます。

そのすべての土台になるのが、「情報」です。

- あなたの指導がより深く、広くなるように。
- 選手たちの可能性をもっと引き出せるように。

ぜひ、ジャンルを超えて情報を集めてみてください。

#### スコアミッションもその情報源のひとつです

私たちは、そんな「未来を見通す力」を育む一助として、スポーツ指導者向けのYouTubeチャンネル「スコアミッション」を運営しています。

短時間で学べる内容になっていますので、ぜひ一度ご覧いただき、現場でのヒントにしていただければ幸いです。

# Chat GPT

AI (artificial intelligence )

AI (人工知能) → 未来予測

沢山の語彙・情報・事例を  
知っていなければ未来は見えない



沢山の語彙・情報・事例を知れば  
きっと未来が見える